



2021年11月30日

各 位

会社名 京葉瓦斯株式会社
代表者名 取締役社長 羽生 弘
(コード番号：9539 東証第二部)
問合せ先 総務部長 三浦 一棋
(Tel047-325-4111)

長期経営ビジョン 2030・中期経営計画 2022-2024 の策定について

当社は、取り巻く環境や時代のニーズに応えるオール京葉ガス[※]の取り組みを皆さまと共有するために、オール京葉ガスの“ありたい姿”や“事業の方向性”を定めた「長期経営ビジョン 2030」と、2030年の“ありたい姿”実現に向けた「中期経営計画 2022-2024」を策定しました。

※オール京葉ガス：お客さまに提供する価値を高めるための当社、グループ会社を含めたビジネスパートナーで構成する連携体制

1. 長期経営ビジョン 2030 の概要

(1) オール京葉ガス 2030 年のありたい姿

“つぎの「うれしい！」”をご提供することで、お客さまの“期待を超える”存在となる

(2) 事業の方向性

①地域エネルギー領域

オール京葉ガスの有する知見などを活かし、国内を中心とした再生可能エネルギー電源への投資を行い、自社電源としての活用や地域創生に係る新たなビジネス展開を目指します。

社外パートナーと連携して早期に事業戦略及び体制を整備し、エネルギー需要の増加する東南アジアを中心とした海外における再生可能エネルギー電源への投資についても推進します。

②トータルライフサポート領域

これまで培ってきたガス事業の強み（対面接点）とデジタル技術（非対面接点）を融合し、お客さまの暮らしに寄り添う様々な価値をお届けすることで、総合生活産業事業者としてお客さまの“暮らしのかけつけ”を担います。

③エリアマネジメント領域

オール京葉ガスの保有資産を活用した不動産事業の推進と、地域住民・ソーシャルベンチャーなどと連携した“エリア価値の向上”、“社会課題の解決”を目指します。

2. 中期経営計画 2022-2024 の概要

(1) オール京葉ガス 2024 年のありたい姿

さらに多くのお客さまに“新しい価値”を届ける存在となる

(2) 重点戦略・具体的な取り組み

①低炭素・脱炭素社会への貢献

自社事業活動に伴う CO2 排出ゼロを目指すとともに、天然ガスや省エネ設備への転換により、お客さま先での CO2 排出削減に貢献します。

国内外で再生可能エネルギー電源の開発・調達を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します。

カーボンニュートラルガスの導入及び脱炭素・SDGsに資する研究開発を通して、持続可能な社会の実現に貢献します。

②総合生活産業事業者への進化

お客さまの“くらしのかかりつけ”になれるよう、商品・サービスを拡充してさらに多くのお客さまへ新しい価値をお届けします。

③安全・安心の取り組みの強化

都市ガスを安定的に供給するための基盤を更に強化します。

保安・工事に携わる人財教育・訓練に取り組み、重大事故件数ゼロを継続します。

激甚化・多発化する自然災害へのレジリエンスを強化するため、スマートメーターシステムの導入や風水害などへの防災対策を講じます。

④経営基盤の強化

地域のみなさま（行政、企業、地域住民）とともに更なる地域活性化へ貢献します。

商品・サービスに対してお客さまが体験する価値を高めることができるCX、デジタル技術による変革をもたらすDXを推進し、お客さまに新しい価値をお届けします。

働きがいの向上、働きやすい環境の充実、健康経営の推進、多様性の尊重などにより、個人及び組織の更なる成長を目指します。

経営環境の変化や業務効率化を踏まえた組織体制の構築、オール京葉ガスの連携強化などにより、事業体制の最適化、既存事業の強化を推進します。

3. 経営目標

		2024年	2030年
ありたい姿		さらに多くのお客さまに“新しい価値”を届ける存在となる	“つぎの「うれしい！」”をご提供することで、お客さまの“期待を超える”存在となる
低炭素・脱炭素社会への貢献	事業活動に伴うCO2の削減	50%	排出量ゼロ
	カーボンニュートラルガスの導入	1%	5%
	再生可能エネルギー電源の開発	55地点	75地点
	R&Dの推進	脱炭素・SDGsへの貢献	
総合生活産業事業者への進化	お客さまアカウント数の獲得	136万件	150万件
安全・安心の取り組みの強化	保安の高度化	重大事故ゼロ	
	スマートメーターの導入	導入開始	導入の推進
	レジリエンスへの投資	100億円	300億円
経営基盤の強化	DXの推進	新たな価値の提供	
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	個性を活かし合う組織風土の実現による定着率向上	
連結経常利益（2022-2024累計）		180億円以上	

以上

※長期経営ビジョン2030、中期経営計画2022-2024の詳細は、添付資料をご覧ください。

長期経営ビジョン2030・ 中期経営計画2022-2024

2021年11月

つぎの「うれしい!」へ。
keiYO GAS

はじめに

私たちを取り巻く環境や時代のニーズに応える
オール京葉ガスの取り組みを
皆さまと共有するために
オール京葉ガスの
“ありたい姿”や“事業の方向性”を定めた
「長期経営ビジョン2030」
を公表します

“お客さまの期待を超える”存在を目指して
オール京葉ガスは一体となって、
挑戦してまいります

1. はじめに..... P1
2. 環境認識..... P2
3. 長期経営ビジョン2030
- 2030年のありたい姿..... P4
- 重点戦略..... P5
- 事業の方向性..... P6
4. 中期経営計画2022-2024
- 2024年のありたい姿..... P10
- 具体的な取り組み..... P11
5. 経営目標..... P23

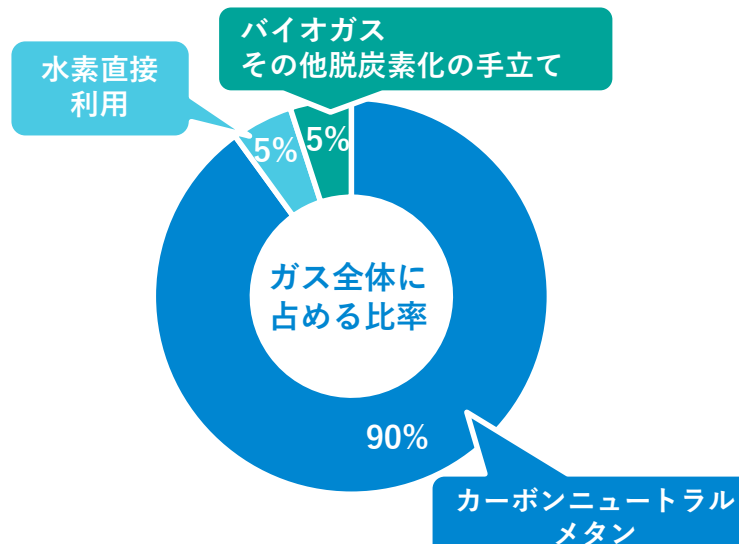
環境認識

- 私たちを取り巻く環境や時代のニーズは脱炭素やDX※などにより目まぐるしく変化しており、そのニーズに応え、推進していく取り組みが求められています

カーボンニュートラル宣言

- 2020年10月
菅内閣総理大臣が「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会を目指す」ことを宣言
- 2020年11月
日本ガス協会が「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定し、ガスの脱炭素化を目指すことを宣言

2050年ガスのカーボンニュートラル化実現に向けた姿



コーポレートメッセージ・ロゴの刷新

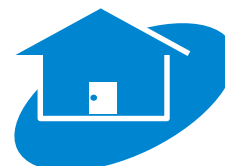
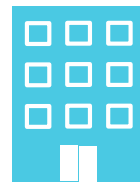
- 2021年1月
京葉ガスはガス・電気を中心としたエネルギー事業を基盤にお客さまの生活全般にわたるサービスを提供する「総合生活産業事業者」へ進化することを目指し、コーポレートメッセージ・ロゴを変更しました

つぎの「うれしい!」へ。

KeiYO GAS

ライフスタイルの変化

- 新型コロナウイルス感染症の拡大などに伴い、デジタル技術を活用した様々な新しいサービスが活用されています
例えば、自宅などの身近な生活域（ファーストプレイス）で勤務するライフスタイルも広がりを見せています



職場など(セカンドプレイス)

自宅など(ファーストプレイス)

長期経営ビジョン2030

つぎの「うれしい!」へ。

keiYo GAS

2030年のありたい姿

“つぎの「うれしい！」”をご提供することで、お客さまの“期待を超える”存在となる

- オール京葉ガスは3つの事業領域
「①地域エネルギー領域、②トータルライフサポート領域、③エリアマネジメント領域」
において、様々な価値の提供を推進し“2030年のありたい姿”の実現を目指します

①地域エネルギー領域

ガス(都市ガス・LPG)・
電気事業及び再生可能
エネルギーの電源開発
に関する領域

②トータルライフサポート領域

様々なサービスを通じて、
お客さまの
”くらしのかかりつけ”
を担う領域

③エリアマネジメント領域

不動産事業及び地域課題の
解決に向けた取り組み
を志向する領域

密接に関わり合う3つの事業領域を成長させ、
お客さまへ様々な価値を提供

重点戦略

- “2030年のありたい姿”の実現に向けて、4つの重点戦略に取り組みます

低炭素・脱炭素社会への貢献



- －最終消費先でのCO2排出抑制
- －再生可能エネルギー電源の拡大
- －カーボンニュートラルガスの導入

総合生活産業事業者への進化

つぎの「うれしい!」へ。
KeiYO GAS

- －事業領域の拡大・サービスの拡充

安全・安心の取り組みの強化



- －安全・安心の徹底
- －レジリエンスの強化

経営基盤の強化



- －地域活性化への貢献
- －CX・DXの推進
- －ありたい姿を実現するための人財育成
- －事業体制の最適化
- －既存事業の強化



事業の方向性

地域エネルギー領域

- オール京葉ガスの有する知見などを活かし、国内を中心とした再生可能エネルギー電源への投資を行い、**自社電源としての活用**や**地域創生に係る新たなビジネス展開**を目指します
- 社外パートナーと連携して早期に事業戦略及び体制を整備し、エネルギー需要の増加する**東南アジアを中心とした海外における再生可能エネルギー電源への投資**についても推進します

本領域にて取り組むビジネスの方向性

グループ会社との取り組み例

KeiYO GAS

(共同)投資・人財連携など



京葉ガスエネルギーソリューション株式会社
KeiYO GAS グループ

豊富な再生可能エネルギー電源開発実績

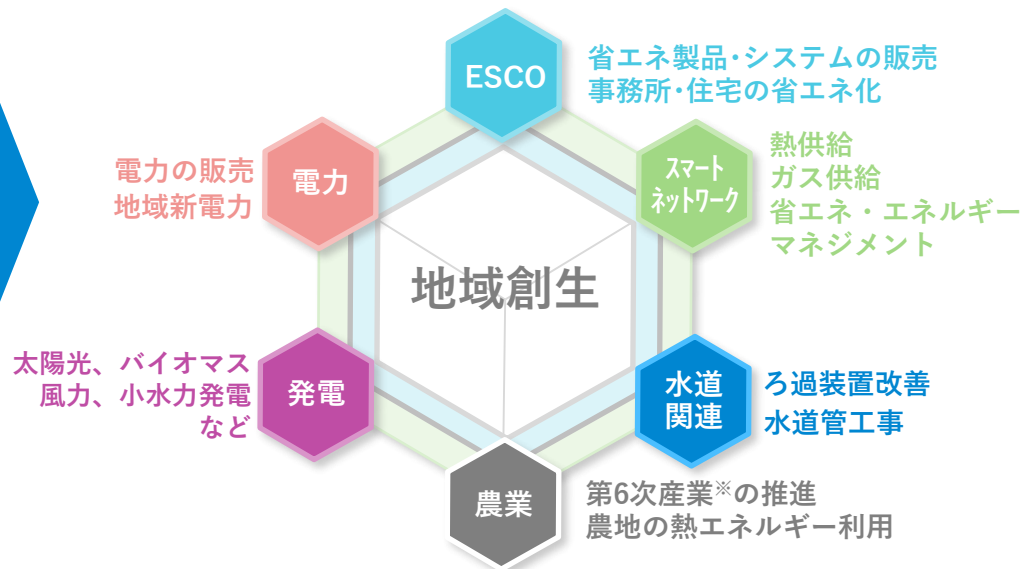
太陽光発電

バイオマス発電

小水力発電

地産地消エネルギー型モデル【国内】

再生可能エネルギーを足掛かりとする地産地消エネルギー型モデルの推進、地域創生(行政との連携、地域雇用創出など)の実現



※農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態

事業の方向性

トータルライフサポート領域

- これまで培ってきたガス事業の強み(対面接点)とデジタル技術(非対面接点)を融合し、お客さまの暮らしに寄り添う様々な価値をお届けすることで、**総合生活産業事業者**として**お客さまの”暮らしのかけつけ”**を担います

本領域にて取り組むビジネスの方向性

オール京葉ガスの強み

安心感・信頼感

お客さまの
継続的なニーズ

繰り返し
商品やサービス
をお届け

”暮らしのかけつけ”として
お客さまからのエネルギー以外の期待値を醸成する

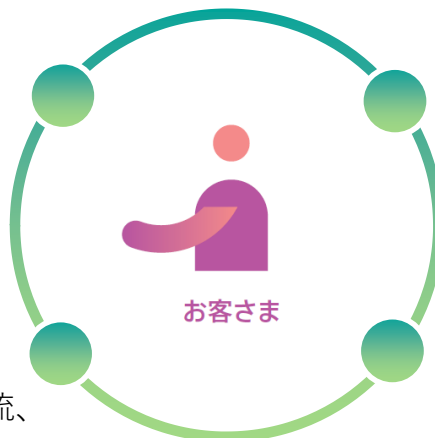
- オール京葉ガスに任せておけば大丈夫という安心感
- 日常生活での困り事・悩み事をいつも相談でき、迅速・確実に解決してくれる

実店舗(サービスショップなど)

- ガス機器などの迅速な修理対応(365日24時間受付・修理対応)
- 対面によるきめ細やかな商品・サービスのお届け

イベント

- イベントを通じたお客さまとの交流、お得な商品・サービスのご提供



SNS・WEBサイト

- お客さまニーズを分析し、暮らしに寄り添う価値を積極的にご提案
- 利便性の高いお客さま窓口の充実
- SNSを活用した防災情報などの発信

お客さまコールセンター

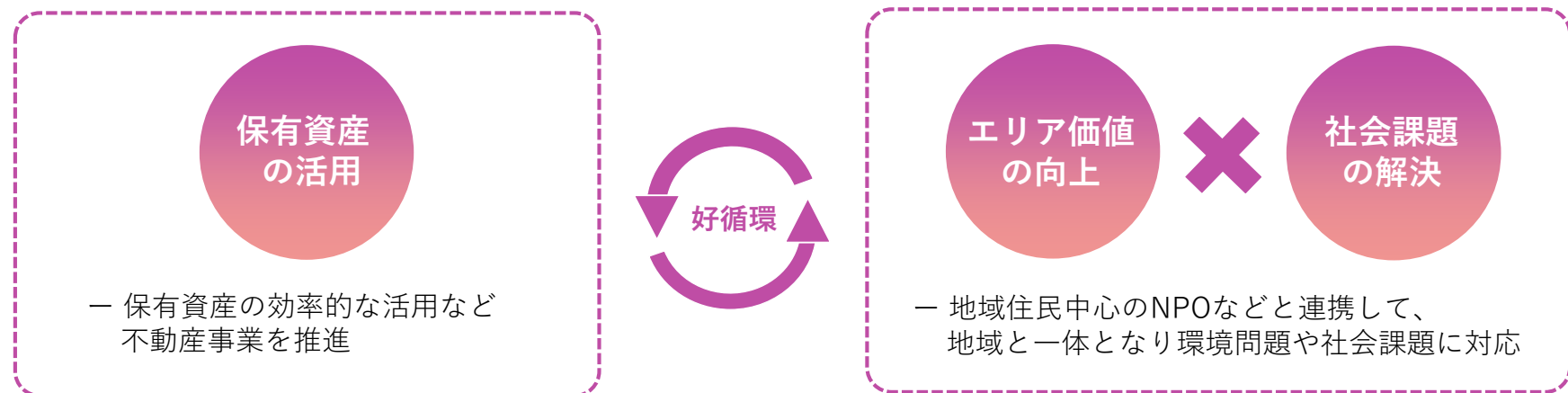
- お客さまのニーズにお応えする幅広い連絡手段(電話・メール・チャット)の充実

事業の方向性

エリアマネジメント領域

- オール京葉ガスの保有資産を活用した不動産事業の推進と、地域住民・ソーシャルベンチャーなどと連携した”エリア価値の向上”、“社会課題の解決”を目指します

本領域にて取り組むビジネスの方向性



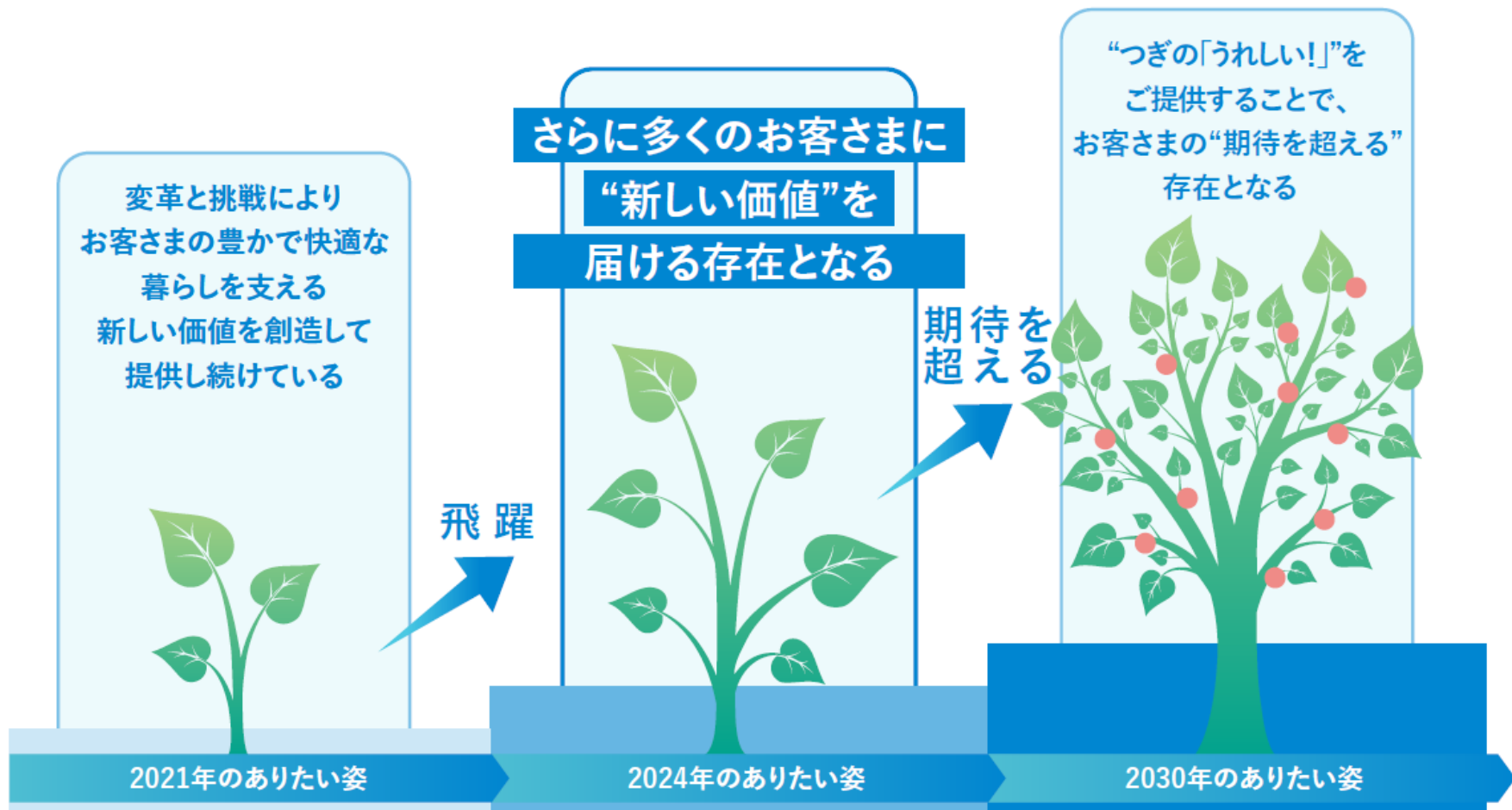
中期経営計画2022-2024

つぎの「うれしい!」へ。

keiYo GAS

2024年のありたい姿

- “期待を超える”存在となるため、さらに多くのお客さまに新しい商品・サービスなどをお届けできるよう、中期経営計画2022-2024の3年間で更なる飛躍を目指します



具体的な取り組み

- 自社事業活動に伴うCO2排出ゼロを目指すとともに、天然ガスや省エネ設備への転換により、お客さま先でのCO2排出削減に貢献します

事業活動におけるCO2の削減

自社事業活動におけるCO2排出ゼロを目指します

- 自社事業所におけるガス・電気のカーボンニュートラル化
- 社用車のCO2排出削減



【目標】 事業活動に伴うCO2※1の削減

2024年 50%※2

2030年 排出量ゼロ※2

天然ガスシフトの推進

石油・石炭などからの燃料転換を促進します

CO2排出量(石炭を100とした場合)※3



豊富な経験・知見に基づく省エネ提案

豊富な経験・知見に基づいたレジリエンスや省エネ提案を通して、お客さま先や地域におけるCO2排出を削減します

- 地域の脱炭素施策支援
- 既存建築物の省CO2改修
- レジリエンスを実現する
コージェネレーションシステム提案

※1：京葉ガス事業所のガス・電気のエネルギー使用、社用車の走行により排出するCO2 ※2：2020年比（クレジット活用含む）

※3：【出典】エネルギー白書

中期経営計画2022-2024

具体的な取り組み

- 国内外で再生可能エネルギー電源の開発・調達を推進し、脱炭素社会の実現に貢献します

再生可能エネルギー電源の拡大

オール京葉ガスの有する知見などを活かし、幅広い再生可能エネルギー電源を開発・調達します

- 国内外における再生可能エネルギー電源の開発・調達
- PPA※1モデルによる太陽光発電サービスの提供

【目標】再生可能エネルギー電源の開発

2024年

55地点※2

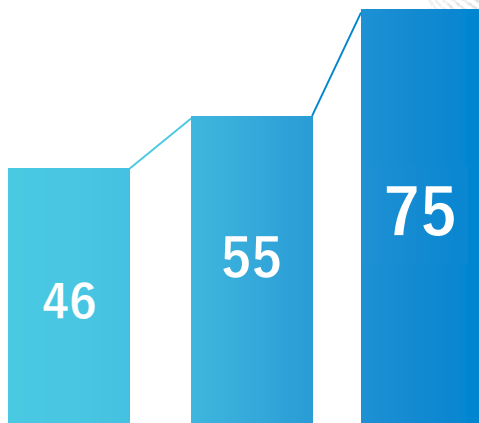
2030年

75地点※3

2021

2024

2030



再生可能エネルギー電源の開発地点数



バイオマス発電(北海道)



こもればいファンド1号

※1 PPA(Power Purchase Agreement【電力販売契約】)：太陽光発電設備を所有、管理するPPA事業者が、施設所有者の提供する屋根などのスペースに太陽光発電システムを設置し、発電された電力をその施設の電力使用者へ有償提供する仕組み

※2 2024年における累計地点数 ※3 2030年における累計地点数

具体的な取り組み

- カーボンニュートラルガスの導入及び脱炭素・SDGsに資する研究開発を通して、持続可能な社会の実現に貢献します

カーボンニュートラルガスの導入

カーボンニュートラル化したガス※¹の供給を推進します

【目標】カーボンニュートラルガスの導入

2024年 1%※²

2030年 5%※²



R&D※³の推進

“オール京葉ガス”の有する知見・資産を活用し、脱炭素・SDGsに資する研究開発を学術機関・スタートアップ企業などと推進します

【目標】R&Dの推進

2024年

2030年

脱炭素・SDGsへの貢献



※¹: カーボンニュートラルLNG・バイオ・メタネーション由来のガスなど ※²: 販売量に占める割合
※³: R&D(Research and Development)研究開発

具体的な取り組み

- お客さまの“くらしのかかりつけ”になれるよう、商品・サービスを拡充してさらに多くのお客さまへ新しい価値をお届けします

小売電気事業の拡大

より魅力ある料金プラン・付帯サービスの設定や各種キャンペーンにより、小売電気事業の拡大を図ります



くらし周辺サービスの拡充

ハウスクリーニング、リフォーム事業を拡大するとともに、新規事業・新サービスの開発および他社とのアライアンスなどにより事業領域を拡大させ、サービスの拡充を図り、お客さまの安心で快適なくらしに貢献します



ソリューション提案の強化

様々な接点を通じて、くらしやビジネスのお困りごとを解決するソリューションをお届けします

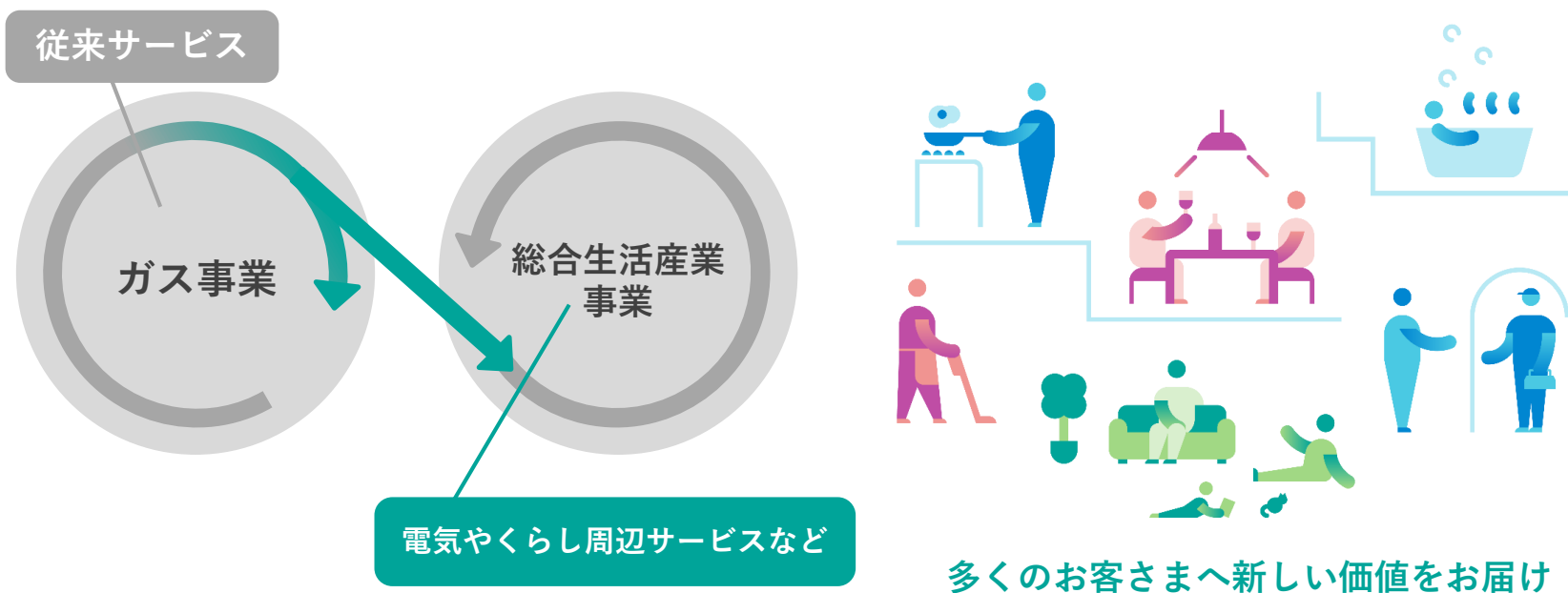
- －省エネルギー提案の推進
- －お客さまのニーズに合わせた最適ソリューション（エネルギーサービスなど）の実施



具体的な取り組み

お客さま接点拡大の取り組み

総合生活サービスをご利用いただけるよう、ガス事業における機器修理などのサービスを契機としたお客さま接点の拡大を図るとともに、会員サイト「ウィズ京葉ガス」などのWEBを活用してお客さまへ新しい価値をお届けします



多くのお客さまへ新しい価値をお届け

【目標】お客さまアカウント数※1の獲得

2024年 136万件※2 2030年 150万件※2

※1：ガス(都市ガス・LPG)・電気・その他サービスにおける契約数(継続的に提供するサービス)

※2：2024年、2030年それぞれにおける契約数

具体的な取り組み

- 都市ガスを **安定的に供給するための基盤を更に強化** します
- 保安・工事に携わる人財教育・訓練に取り組み、**重大事故※件数ゼロを継続** します

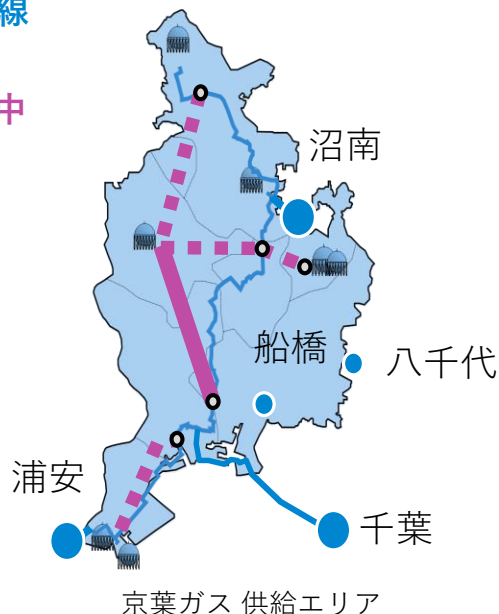
供給基盤の強靱化

将来にわたり天然ガスを安定的にお客さまに供給するために、供給基盤を強化します

- 第三中央幹線の整備
- 天然ガス軽質化への対応
- 「なのはなパイプライン(株)」による新たなパイプラインの建設・運用開始

第三中央幹線

- 工事中
- 計画



なのはなパイプライン

区 間：約30km
口 径：600mm
運用開始：2022年



具体的な取り組み

保安・工事の高度化

安全・安心確保のための教育、環境負荷やコスト低減などに資する新技術の開発及び積極的導入により、保安・工事の高度化を図ります

- 緊急保安研修センターにおける仮想現実技術などを活用した教育及び訓練
- ガス導管工事品質・安全の向上
- 新たな非開削工法の開発

緊急保安研修センター

研修棟、エマージェンシースクール棟(ES棟)、屋外実習棟で構成され、ES棟では様々なガス漏えい現場を再現した実践的な訓練が可能



1960年代の住宅を模した訓練スペース



ラーメン店や居酒屋などの飲食店を模した訓練スペース



VR(仮想現実技術)を組み合わせた訓練

訓練中のVR画像
(着火危険体感)



【目標】保安の高度化

2024年

2030年

重大事故ゼロ

具体的な取り組み

- 激甚化・多発化する自然災害へのレジリエンスを強化するため、スマートメーターシステムの導入や風水害などへの防災対策を講じます

スマート保安の取り組み

遠隔開閉栓、遠隔検針などが可能になるスマートメーターシステムの導入を推進し、平時における業務効率化、災害時復旧の迅速化などを図ります

【目標】スマートメーターの導入

2024年 導入開始 2030年 導入の推進

スマートメーターシステム(イメージ)



防災対策の高度化

発生が想定される首都直下地震や激甚化・多発化する自然災害へのレジリエンスを強化します

- 導管ネットワークの強靱化
- 指令室機能の高度化
- 風水害などへの浸水対策

【目標】レジリエンスへの投資

2024年 100億円※1 2030年 300億円※2

自然災害に対する迅速な復旧対応※3



※1：2022-2024年の累計投資額 ※2：2022-2030年の累計投資額 ※3：東日本大震災における被害と復旧対応

具体的な取り組み

- 地域のみなさま（行政、企業、地域住民）とともに更なる地域活性化へ貢献します

地域の付加価値向上への取り組み

オール京葉ガスの保有資産などの活用、地域と一体となったエリア開発を実施します

- 「中高層都市型住宅を中心とした、うるおいある緑ゆたかな街づくり」をコンセプトとした市川工場跡地開発
- 地域イベントへの参画
- KeiyoGAS Community Terrace（てらす）を活用した地域交流



KeiyoGAS Community Terrace（てらす）は、地域のみなさまのくらしや活動をより豊かにするために誕生したコミュニティスペースになります
「こどもと、おとなと、まちを照らす。」をコンセプトに、様々な人たちが集い広く交流が図れるコミュニティの場を創造します



具体的な取り組み

- 商品・サービスに対してお客さまが体験する価値を高めることができるCX※1、デジタル技術による変革をもたらすDXを推進し、お客さまに新しい価値をお届けします

CX・DXの推進

CX・DXの推進によりお客さまの利便性を向上させ、オール京葉ガスで「対応の良いサービス」をお届けし続けることで、お客さまが体験する価値の向上を目指します

コンタクト 手段の多様化 強靱化

- ー 電話受付とWeb受付を融合させ、コンタクト手段を多様化します
- ー お客さまコールセンターの複数拠点化、オペレーター在宅勤務化により災害時の受付体制を強化します

潜在・顕在 ニーズへの対応

- ー CRM※2などを活用してお客さまニーズを踏まえた提案を行います
- ー デジタル技術によるタイムリーなお客さまの声の収集により業務改善/改革を行います

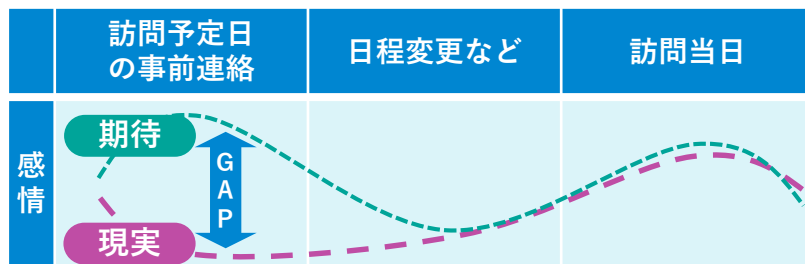
【目標】DXの推進

2024年

2030年

新たな価値の提供

NPS※3とカスタマージャーニーマップ※4の活用 (例：定期保安巡回※5)



お客さまの期待

事前に作業内容を知りたい

GAPを解消する対応

- 動画を活用した作業内容の見える化 etc.



具体的な取り組み

- 働きがいの向上、働きやすい環境の充実、健康経営の推進、多様性の尊重などにより、個人及び組織の更なる成長を目指します

働きがいの向上、働きやすい環境の充実

ワーク・エンゲージメント※1を高め、更なる成長を目指します

- － モバイル端末(タブレットなど)の積極的活用
- － 介護をしながら働く従業員支援の推進
- － テレワークの推進
- － フリーアドレスの導入

多様性の尊重

新規事業・再エネ事業・DXの推進などにおける専門人材の雇用などにより、スピード感のある取り組みを実現します

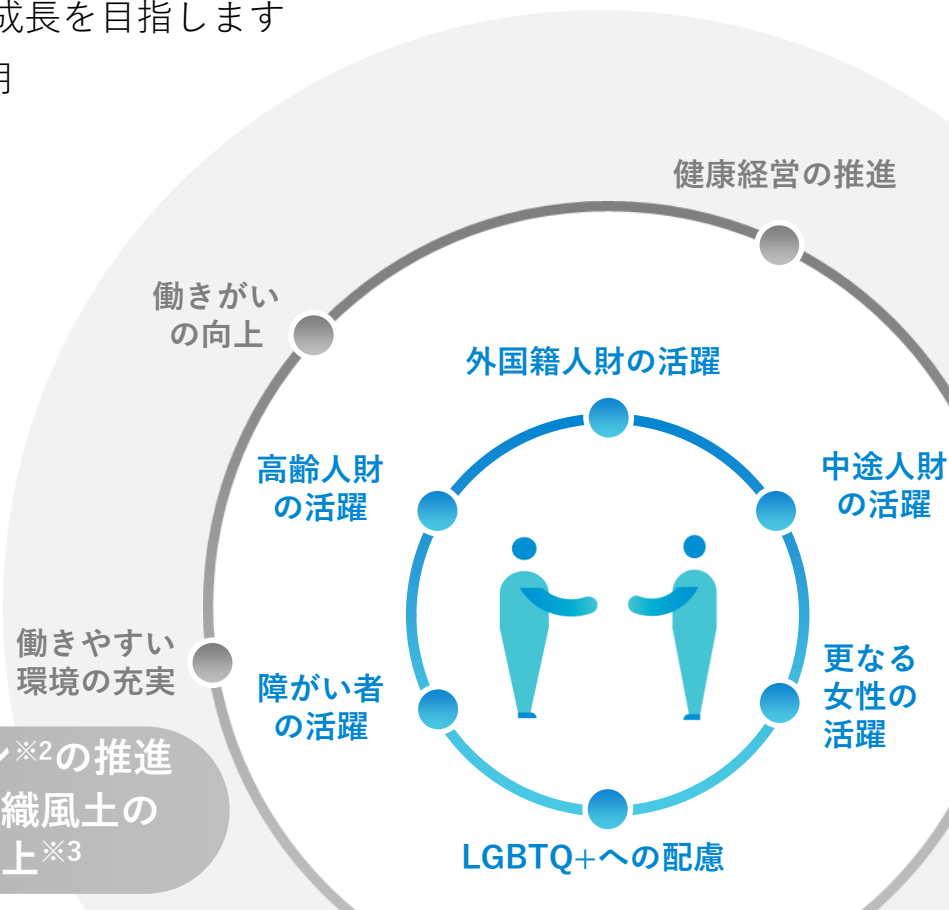
また、新たな人材がもたらす刺激・活力を通して個人・組織の更なる成長を促します

【目標】ダイバーシティ&インクルージョン※2の推進

2024年

2030年

個性を活かし合う組織風土の実現による定着率向上※3



※1 ワーク・エンゲージメント：仕事に関連するポジティブで充実した心理状態として「活力・熱意・没頭」の3つが揃った状態

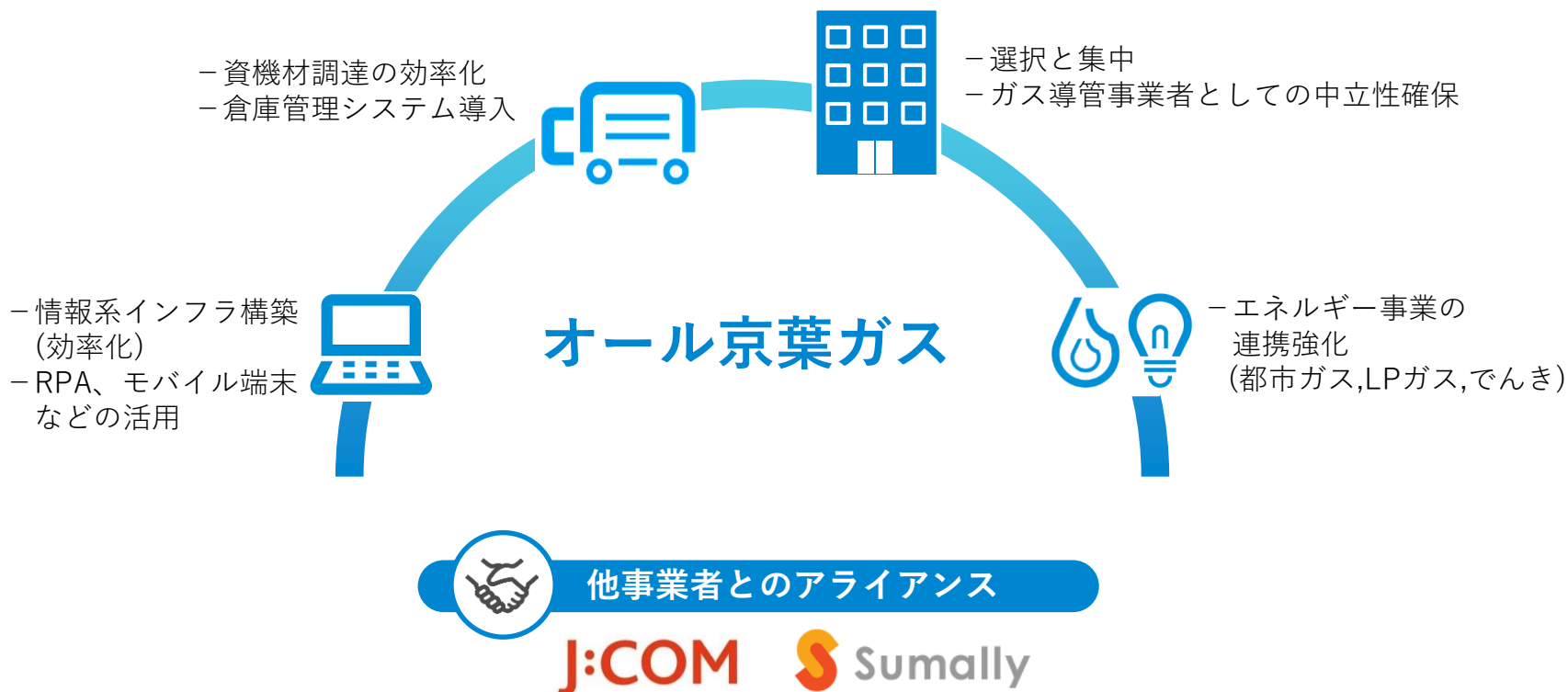
※2 ダイバーシティ&インクルージョン：性別、年齢、障がい、国籍などの外面の属性や、ライフスタイル、職歴、価値観などの内面の属性に関わらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、良いところを活かすこと ※3：2020年比

具体的な取り組み

- 経営環境の変化や業務効率化を踏まえた組織体制の構築、オール京葉ガスの連携強化などにより、事業体制の最適化、既存事業の強化を推進します

事業体制の最適化・既存事業の強化

基盤事業であるガス体エネルギーの普及拡大、既存事業の業務効率化、他事業者とのアライアンスの拡大により、お客さまに更に魅力のあるサービスを提案します



中期経営計画2022-2024／長期経営ビジョン2030

		2024年	2030年
ありたい姿		さらに多くのお客さまに “新しい価値”を 届ける存在となる	“つぎの「うれしい！」”を ご提供することで、お客さまの “期待を超える”存在となる
低炭素・脱炭素 社会への貢献※1	事業活動に伴うCO2※2の削減	50%※3	排出量ゼロ※3
	カーボンニュートラルガスの導入	1%※4	5%※4
	再生可能エネルギー電源の開発	55地点※5	75地点※5
	R&Dの推進	脱炭素・SDGsへの貢献	
総合生活産業 事業者への進化※1	お客さまアカウント数※6の獲得	136万件※7	150万件※7
安全・安心の 取り組みの強化※8	保安の高度化	重大事故ゼロ※9	
	スマートメーターの導入	導入開始	導入の推進
	レジリエンスへの投資	100億円※10	300億円※11
経営基盤の強化※1	DXの推進	新たな価値の提供	
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進	個性を活かし合う組織風土の実現による定着率向上※12	
連結経常利益(2022-2024累計)		180億円以上	

※1：オール京葉ガスでの取り組み ※2：京葉ガス事業所のガス・電気エネルギー使用、社用車の走行により排出するCO2 ※3：2020年比（クレジット活用含む）
 ※4：販売量に占める割合 ※5：当該年までの累計地点数
 ※6：お客さまアカウント数は、ガス(都市ガス・LPG)・電気・その他サービスにおける契約数(継続的に提供するサービス)
 ※7：当該年までの累計件数 ※8：京葉ガスの都市ガス事業
 ※9：重大事故：当社設備の故障などに起因する人身事故・大規模供給停止、当社が原因となるガスに起因する爆発事故、お客さま先でのガス機器使用に伴う死亡事故
 ※10：2022-2024年の累計投資額 ※11：2022-2030年の累計投資額 ※12：2020年比

つぎの「うれしい!」へ。

KeiYO GAS